

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成24年11月12日

**【四半期会計期間】** 第66期第2四半期(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

**【会社名】** アトムクス株式会社

**【英訳名】** ATOMIX CO.,LTD

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 小林 和幸

**【本店の所在の場所】** 東京都板橋区舟渡三丁目9番6号

**【電話番号】** 03(3969)3111

**【事務連絡者氏名】** 管理統括部長 富士田 学

**【最寄りの連絡場所】** 東京都千代田区神田富山町18番地

**【電話番号】** 03(5297)1801

**【事務連絡者氏名】** 管理統括部長 富士田 学

**【縦覧に供する場所】** 株式会社大阪証券取引所  
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第65期 第2四半期 連結累計期間	第66期 第2四半期 連結累計期間	第65期
会計期間		自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高	(千円)	4,428,506	4,959,926	10,516,035
経常損益(は損失)	(千円)	19,382	81,076	344,402
四半期(当期)純損益 (は損失)	(千円)	37,321	24,390	139,358
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	17,833	26,888	146,388
純資産額	(千円)	8,765,631	8,885,990	8,929,853
総資産額	(千円)	12,898,827	12,790,260	13,518,129
1株当たり四半期(当期) 純損益金額(は損失)	(円)	4.42	2.88	16.50
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	68.0	69.5	66.1
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	136,996	355,623	231,175
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	45,982	6,428	34,369
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	213,435	174,865	303,154
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	2,615,398	2,381,444	2,196,902

回次		第65期 第2四半期 連結会計期間	第66期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日
1株当たり四半期純損益金額(は損失)	(円)	0.57	2.73

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成していますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。  
2. 売上高には、消費税等は含まれていません。  
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社、以下同じ)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

主要な関係会社の異動については、次のとおりです。

当第2四半期連結累計期間において、連結子会社であった阿童木(廊坊)塗料有限公司は平成24年5月25日に清算結了したことにより、連結の範囲から除外しています。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景とした景気持ち直しの動きがみられますが、長期化する円高、日中関係の悪化などにより先行きは不透明な状況が続いています。

このような状況の中、当社グループは市場の変化、地域別・顧客別のニーズに対応するため、新規流通の開拓、既存製品の改良、新製品の開発及び上市に取り組んできました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高49億59百万円（前年同期 売上高44億28百万円）、営業利益82百万円（同 営業損失10百万円）、経常利益81百万円（同 経常損失19百万円）、四半期純利益24百万円（同 四半期純損失37百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### < 塗料販売事業 >

建築用塗料及び床用塗料は、震災以降控えられていた設備投資に若干回復基調がみられるようになったため、前年より出荷量を伸ばすことができました。道路用塗料は、西日本地区の低迷が続いていますが、東北地方へのお荷量は順調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の塗料販売事業の売上高は前年同期に比べて4億40百万円増加し、47億50百万円（前年同期比 10.2%増）となりました。

#### < 施工事業 >

前期末の仕掛工事が完成し、その売上を計上した影響と床塗装工事の受注が増加したことにより、当第2四半期連結累計期間の施工事業の売上高は前年同期に比べて91百万円増加し、2億9百万円（同 76.6%増）となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、127億90百万円（前連結会計年度末比7億27百万円減少）となりました。これは主に、現金及び預金で1億84百万円増加したものの、受取手形及び売掛金で8億11百万円、保険積立金（投資その他の資産）で70百万円減少したためです。

当第2四半期連結会計期間末の負債は39億4百万円（同6億84百万円減少）となりました。これは主に、支払手形及び買掛金で3億69百万円、未払法人税等で1億32百万円、引当金（流動負債）で88百万円、長期借入金で71百万円減少したためです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は88億85百万円（同43百万円減少）となりました。これは主に、四半期純利益で24百万円増加したものの、配当により84百万円減少したためです。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下、資金という）の残高は23億81百万円で、前連結会計年度末より1億84百万円増加しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりです。

### 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、得られた資金は3億55百万円（前年同四半期は、1億36百万円資金の獲得）となりました。これは主に、売上債権の減少、減価償却費により9億34百万円資金が増加し、仕入債務・賞与引当金の減少及び法人税等の支払額により5億90百万円資金が減少したことによるものです。

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、得られた資金は6百万円（同45百万円使用）となりました。これは主に、保険積立金の払戻による収入で1億円増加し、有形固定資産及び無形固定資産並びに投資有価証券の取得による支出により94百万円使用したことによるものです。

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、使用した資金は1億74百万円（同2億13百万円使用）となりました。これは主に長期借入金の返済及びリース債務の返済による支出並びに配当金の支払により、1億74百万円を使用したことによるものです。

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は1億円で、遮熱塗料などの機能製品の性能向上、防水材の耐汚染性の向上、コーティング材の開発など全て塗料販売事業の研究開発に投入しました。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,440,000	9,440,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	9,440,000	9,440,000		

(注)

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日		9,440,000		1,040,000		680,400

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
西川不動産株式会社	東京都千代田区神田富山町18	3,178	33.66
アトムクス取引先持株会	東京都板橋区舟渡 3 9 6	1,216	12.88
東京中小企業投資育成株式会社	東京都渋谷区渋谷 3 29 22	700	7.41
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海 1 8 11	321	3.40
西川正洋	神奈川県逗子市	280	2.97
アトムクス社員持株会	東京都板橋区舟渡 3 9 6	213	2.26
東洋テック株式会社	大阪府大阪市浪速区桜川 1 7 18	126	1.33
関原真理子	東京都板橋区	109	1.15
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町 2 11 3	106	1.12
西川ルミ子	東京都渋谷区	75	0.79
計		6,325	67.01

- (注) 1 所有株式数は、千株未満を切り捨てて記載しています。  
2 所有株式数の割合は小数点以下第3位を切り捨てて記載しています。  
3 上記のほか自己株式997千株(10.57%)を保有しています。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 997,000		単元株式数 1,000株
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,439,000	8,439	同上
単元未満株式	普通株式 4,000		
発行済株式総数	9,440,000		
総株主の議決権		8,439	

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
アトムクス株式会社	東京都板橋区舟渡3-9-6	997,000		997,000	10.56
計		997,000		997,000	10.56

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しています。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人保森会計事務所による四半期レビューを受けています。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,196,902	2,381,444
受取手形及び売掛金	<sup>2</sup> 4,724,184	<sup>2</sup> 3,912,799
商品及び製品	966,119	969,494
仕掛品	190,506	228,309
原材料及び貯蔵品	464,731	479,612
その他	266,558	194,531
貸倒引当金	89,853	81,588
流動資産合計	8,719,148	8,084,604
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,744,050	2,744,050
その他(純額)	1,317,827	1,296,419
有形固定資産合計	4,061,877	4,040,470
無形固定資産	151,629	143,673
投資その他の資産	<sup>1</sup> 585,472	<sup>1</sup> 521,512
固定資産合計	4,798,980	4,705,655
資産合計	13,518,129	12,790,260
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	<sup>2</sup> 2,767,978	<sup>2</sup> 2,398,481
短期借入金	342,844	342,844
未払法人税等	152,908	20,426
引当金	212,253	123,435
その他	<sup>2</sup> 475,085	<sup>2</sup> 447,245
流動負債合計	3,951,069	3,332,433
固定負債		
長期借入金	142,936	71,514
退職給付引当金	268,425	271,443
引当金	119,177	120,992
資産除去債務	38,390	38,666
その他	68,277	69,219
固定負債合計	637,206	571,836
負債合計	4,588,275	3,904,269

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,040,000	1,040,000
資本剰余金	680,400	680,400
利益剰余金	7,601,695	7,541,665
自己株式	380,175	380,175
株主資本合計	8,941,920	8,881,889
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,996	33,696
為替換算調整勘定	56,062	29,596
その他の包括利益累計額合計	12,066	4,100
純資産合計	8,929,853	8,885,990
負債純資産合計	13,518,129	12,790,260

(2)【四半期連結損益及び包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>売上高</b>		
商品及び製品売上高	4,309,657	4,750,071
工事売上高	118,849	209,855
売上高合計	4,428,506	4,959,926
<b>売上原価</b>		
商品及び製品売上原価	2,983,260	3,270,323
工事売上原価	104,648	197,085
売上原価合計	3,087,908	3,467,409
<b>売上総利益</b>	1,340,598	1,492,517
販売費及び一般管理費	1,350,729	1,409,831
<b>営業利益又は営業損失( )</b>	10,131	82,686
<b>営業外収益</b>		
受取利息	182	76
受取配当金	3,087	3,250
受取家賃	2,330	1,873
その他	3,062	6,498
<b>営業外収益合計</b>	8,664	11,698
<b>営業外費用</b>		
支払利息	5,187	3,440
為替差損	10,522	9,867
貸倒引当金繰入額	2,200	-
その他	5	-
<b>営業外費用合計</b>	17,916	13,308
<b>経常利益又は経常損失( )</b>	19,382	81,076
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	-	199
保険満期返戻金	-	29,323
<b>特別利益合計</b>	-	29,523
<b>特別損失</b>		
固定資産売却損	-	240
固定資産除却損	589	1,195
子会社清算損	-	11,237
ゴルフ会員権評価損	1,100	-
リース解約損	-	2,710
<b>特別損失合計</b>	1,689	15,383
<b>税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )</b>	21,072	95,216
法人税、住民税及び事業税	14,444	16,794
法人税等調整額	1,804	54,031
<b>法人税等合計</b>	16,248	70,826
<b>少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )</b>	37,321	24,390
<b>四半期純利益又は四半期純損失( )</b>	37,321	24,390

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	37,321	24,390
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,487	10,299
為替換算調整勘定	10,000	12,797
その他の包括利益合計	19,487	2,498
四半期包括利益	17,833	26,888
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,833	26,888
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	21,072	95,216
減価償却費	132,234	124,240
貸倒引当金の増減額( は減少)	27,107	6,456
賞与引当金の増減額( は減少)	83,035	73,308
役員退職慰労引当金の増減額( は減少)	11,955	1,814
退職給付引当金の増減額( は減少)	838	3,018
整理損失引当金の増減額( は減少)	-	15,888
災害損失引当金の増減額( は減少)	10,330	-
受取利息及び受取配当金	3,270	3,326
支払利息	5,187	3,440
為替差損益( は益)	27,249	4,156
固定資産売却損益( は益)	-	40
固定資産除却損	589	1,195
ゴルフ会員権評価損	1,100	-
売上債権の増減額( は増加)	817,568	809,863
たな卸資産の増減額( は増加)	347,365	54,930
仕入債務の増減額( は減少)	400,938	370,536
リース解約損	-	2,710
保険満期返戻金	-	29,323
その他	157,175	10,667
小計	235,191	502,592
利息及び配当金の受取額	3,270	3,326
利息の支払額	5,486	3,856
法人税等の支払額	95,980	146,440
営業活動によるキャッシュ・フロー	136,996	355,623
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	30,274	70,318
有形固定資産の売却による収入	-	420
無形固定資産の取得による支出	9,000	5,703
無形固定資産の売却による収入	-	92
投資有価証券の取得による支出	2,546	18,697
投資有価証券の売却による収入	-	-
保険積立金の払戻による収入	-	100,286
その他	4,162	348
投資活動によるキャッシュ・フロー	45,982	6,428

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	200,000	200,000
短期借入金の返済による支出	200,000	200,000
長期借入金の返済による支出	116,422	71,422
配当金の支払額	83,265	84,086
ファイナンス・リース債務の返済による支出	13,748	19,356
財務活動によるキャッシュ・フロー	213,435	174,865
現金及び現金同等物に係る換算差額	24,857	2,643
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	147,280	184,542
現金及び現金同等物の期首残高	2,762,679	2,196,902
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 2,615,398	1 2,381,444

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年9月30日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年9月30日)
1. 税金費用の計算	税金費用については、一部の連結子会社においては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
投資その他の資産	5,819	7,938

2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしています。

なお、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれています。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	170,773	333,943
支払手形	104,005	133,887
その他(設備関係支払手形)	7,865	3,249

(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
給料手当	428,505	437,797
貸倒引当金繰入額	831	12
賞与引当金繰入額	51,775	66,352
役員退職慰労引当金繰入額	7,646	4,460
運賃	271,658	298,690

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	2,615,398	2,381,444
現金及び現金同等物	2,615,398	2,381,444

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	84,420	10	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	84,420	10	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	塗料販売事業	施工事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	4,309,657	118,849	4,428,506	4,428,506
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,578		35,578	35,578
計	4,345,235	118,849	4,464,085	4,464,085
セグメント利益又は損失( )	158,777	4,179	154,598	154,598

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額  
 及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	154,598
全社費用(注)	164,729
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失( )	10,131

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	塗料販売事業	施工事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	4,750,071	209,855	4,959,926	4,959,926
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,181		8,181	8,181
計	4,758,252	209,855	4,968,107	4,968,107
セグメント利益又は損失( )	266,482	6,541	259,941	259,941

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	259,941
全社費用(注)	177,255
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	82,686

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく方法に変更しています。これによる当第2四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微です。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )	4.42円	2.88円
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失( )(千円)	37,321	24,390
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失( )(千円)	37,321	24,390
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,442	8,442

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月9日

アトミクス株式会社  
取締役会 御中

監査法人 保森会計事務所

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 三 枝 哲 印

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 小 山 貴 久 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアトミクス株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アトミクス株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。